



ユース版

ハンドボール班 男・女とも県優勝、インターハイへ 6年目一貫生も10年ぶりの県制覇に貢献

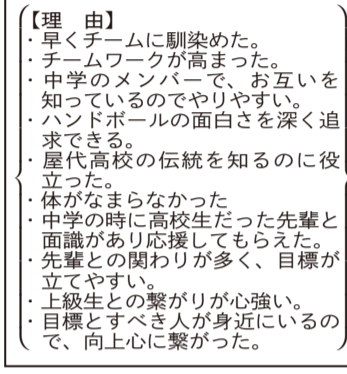
第68回長野県高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会は、去る6月2日、4日千曲市内で行われ、屋代高校が10年ぶりに男女揃って県の頂点に立った。附属中開設から6年目を迎え、中高一貫生の活躍が注目される中、ハンドボール班員の意識を調べてみた。

優勝への軌跡

- 【男子】
- ①屋代 42-11 岡谷南
 - ②屋代 36-16 上田染谷丘
 - ③屋代 23-19 上田
- 【女子】
- ①屋代 27-12 上田染谷丘
 - ②屋代 23-12 上田
 - ③屋代 25-18 長野南

班員の意識調査から

別表を見ると、運動班の活動の中でお互いが「一貫生であること」を意識する人は18%、チームワークについては、全員が「良好である」と感じていて、選抜生と一貫生という枠を超えて、切磋琢磨して練習に励んでいる様子が伺える。また、「一貫生を意識する」場合は「(一貫生が)良いお手本になるから」というスポーツ選手として前向きな理由による。



理由
・早くチームに馴染めた。
・チームワークが高まった。
・中学で学んでいるのと同じように、早くチームに馴染めた。
・先輩と目標が一緒で、先輩の背中を見て頑張ることができた。
・先輩の指導が厳しく、成長することができた。
・先輩の経験が、自分にとっての財産になった。
・先輩の姿が、自分にとっての目標になった。
・先輩の努力が、自分にとっての励みになった。
・先輩の成功が、自分にとっての目標になった。
・先輩の失敗が、自分にとっての教訓になった。
・先輩の経験が、自分にとっての財産になった。
・先輩の指導が厳しく、成長することができた。
・先輩の姿が、自分にとっての目標になった。
・先輩の努力が、自分にとっての励みになった。
・先輩の成功が、自分にとっての目標になった。
・先輩の失敗が、自分にとっての教訓になった。

悲願のアベック優勝

ハンドボール班顧問 山本臣也(体育科教師)
昨年女子が全国大会に出場し、県大会の決勝戦で男子は1点差で敗れた。男子には「二度同じ過ちは繰り返さない」と約束した。敗戦理由を見つけた選手には常に1点の重みを意識した練習をするように指導した。常に長野県高校ハンドボール界のトップの存在でなければならぬというプレッシャーの中「勝たなければならぬ」ではなく「毎日の練習をやつていければ勝てるチームになる」と意識が変化していった。

このチームがスタートしてまず取り組んだことが肉體改造であった。OGのトレーナーに一度東京から来て1年間で10回指導してもらった。3か月後成果が出始め、個々のパフォーマンスが上がりチームの組織力も向上してきた。しかし、11月の新人戦には間に合わず決勝で長野南に男女とも完敗した。同時に栄養指導もOGの専門家に講師をお願いした。男子は3か月でほとんどの選手が3キロ以上体重が増加し、女子の体にも変化が5か月で出始め、選手たちの体が出来上がり、

戦術練習が始まった。1月の県選抜予選では、長野南に女子は1点差、男子は2点差まで拮抗した試合ができるようになってきた。
4月になり一貫生の一期生が3年生となった。本校の中高一貫教育の班活動として集大成となる年が始まった。総勢男女で41名の班員で構成され、4割が一貫生である。チームとしては男女ともエースが一貫生、キャプテンが選抜生となった。5月の北信大会で女子は優勝できたが男子は完敗。男子には勝つためにディフェンスのシステムを変えようという提案をした。3年生の目つきも変わり、県大会決勝の日を迎えた。まず女子がスタートから危なげなく勝利を掴んだ。続く男子はスタートでつまづいたものの、3年生の底力が次々発揮され、キーパー2人の神がかり的なスローパーセーブもあり、5点差リード

で終了のホイッスル。歓喜の瞬間を味わった。
十年ぶりの男女アベック優勝をつかみとった。ここまで成長した選手、支えてくださった保護者の皆様、OB・OGの皆様、学校関係者の皆様に感謝申し上げます。福島県での全国大会を全力でプレーしていきます。

20歳を前にして思うこと
僕が通っていた東京・練馬の公立小には「2分の1成人式」なるものがありました。10歳になるにあたって自らの成長を振り返り、日頃の感謝を保護者に伝える、ということなんです。近年では複雑化する児童の家庭環境を考慮せずに価値観の押し付けを図るのはおかしい、なんて声も聞かれますが、10歳は本当に成人までの2分の1なのかは別にしても三つ子の魂百までとは言っても、実際には後半の半分、とりわけ中学・高校時代の経験が内面・外面双方の人格形成に寄与するところが大きいのではないのでしょうか。



この点について考えた場合、彼らは一定の枠をもった人間関係の中で生徒時代を過ごすことになる一方で、高校入試がないことにより得られる都合5年以上の時間をともに送ることによって、充実した人間関係とそれに裏付けられた経験とを積むことが可能となるのです。

先に充実したと述べたのは、単に遊ぶ時間や仲間が増える、ということではなく、高一貫校の生徒は、非一貫校の生徒が高校入試に取り組み時間を利用して部活動や学校行事といった課外活動に精を出すことを可能にします。私が通っていた高校では、6学年が集合して生徒会による自治の下で運営される、文化祭をはじめとする各種行事のほか、大学以降の学びを見据えた第二外国語の選択授業やその延長としての国外研修制度など、多くの課外活動が奨励され、歴代の生徒たちの手で実行されてきました。

厳しい先生でしたが、同時に大変情熱があり、大会が近づくと、電車通の我々を朝、屋代駅まで迎えて、車で学校につれて行き、短時間で練習させるのです。その熱意には敬服しています。
○後輩諸君に期待したいことをお願いします。

可能性に満ちた附属中・高校時代、勉強もクラブ活動も「北信で優勝」とか、具体的に目標を決めてチャレンジしてほしい。同好会のようなものでもなく、真剣に「価値あるもの」に向かってほしい。

1 小谷小学校、北御牧小学校、郡中学校
2 経済学
3 野球
4 高校生が丁寧な挨拶をしてくれることに感謝しました。応援したいと強く思っただのを覚えておきます。
5 入学時、受験時の気持ちを忘れず、リーダーになれ！地域・社会に貢献する人となれ！

1 原中学校、浅間中学校、信州大学教育学部附属長野小学校、常盤中学校
2 代数学、流体力学
3 釣り、婚活
4 素直な挨拶のできる高校生
5 電車マナーの向上

SBC信越放送の社長に就任された
渡辺雅義氏

第陸学入務取締役
出、時代大学に総務主任
出、時代大学に総務主任
出、時代大学に総務主任
出、時代大学に総務主任

OSBC信越放送の社長に就任されたご所感はいかがですか。
「テレビ業界も変革を迫られていく時代で、BSやCS放送で4K・8Kなど高画質を追求する本格的な放送が、2020年の東京五輪を

目標に進められており、地方局もその影響を受けることになり、大変な時代にいるというのを感じています。
○高校時代は陸上競技で活躍されたとお聞きしましたが、当時の屋代高校には陸上界の大御所・藤本勝彦先生がおられ、2年先輩は長野県大会と北信越大会、共に総合優勝を果たしました。私は中学時代に2000Mを得意としていて、伊藤国光選手と一緒にレースをしたことがあります。
○藤本先生についてお伺いします。

厳しい先生でしたが、同時に大変情熱があり、大会が近づくと、電車通の我々を朝、屋代駅まで迎えて、車で学校につれて行き、短時間で練習させるのです。その熱意には敬服しています。
○後輩諸君に期待したいことをお願いします。

1 小谷小学校、北御牧小学校、郡中学校
2 経済学
3 野球
4 高校生が丁寧な挨拶をしてくれることに感謝しました。応援したいと強く思っただのを覚えておきます。
5 入学時、受験時の気持ちを忘れず、リーダーになれ！地域・社会に貢献する人となれ！

1 原中学校、浅間中学校、信州大学教育学部附属長野小学校、常盤中学校
2 代数学、流体力学
3 釣り、婚活
4 素直な挨拶のできる高校生
5 電車マナーの向上

他方、現行の学校制度に則れば、一般には中学から高校への進学に際して「高校入試」なるものを課されることになり、中学と高校では全く別の環境に身を置くのが普通です。このシステムは、中学校における地域的なつながりと高等学校における階層的なつながりとの双方をもたらしてくる一方で、それぞれの在籍期間の短さから濃密な関係を築きにくいという側面があります。剩餘、ただでさえ短い3年の間に、中学では高校入試、高校では大学入試について考えなくてはならないわけで、非一貫校の環境で余裕のある学生生活を送るためには相応の努力が必要になると言えます。

屋代中学校に入学されたみなさんには、屋中・屋高でしかできない経験を追求し、「2分の1成人式」が10分の1にまうほどの有意義な中高生活を送っていただけたらと思います。

平成二十九年スタート
1. これまでの勤務校
2. 大学の専門分野
3. ご趣味等
4. 着任所感
5. 附属中生への期待

1 原中学校、浅間中学校、信州大学教育学部附属長野小学校、常盤中学校
2 代数学、流体力学
3 釣り、婚活
4 素直な挨拶のできる高校生
5 電車マナーの向上

1 原中学校、浅間中学校、信州大学教育学部附属長野小学校、常盤中学校
2 代数学、流体力学
3 釣り、婚活
4 素直な挨拶のできる高校生
5 電車マナーの向上

1 原中学校、浅間中学校、信州大学教育学部附属長野小学校、常盤中学校
2 代数学、流体力学
3 釣り、婚活
4 素直な挨拶のできる高校生
5 電車マナーの向上

新任の教頭・副校長先生にお聞きする



近藤信昭 教頭先生

①ご着任のご感想からうかがいます。

平成22年度から6年間理科教師としてお世話になった母校に、再び着任することになりました。28年度末、SPAサイエンス校の第4期申請書を先生方と一緒に作らせて頂きましたが、今年4月着任して感じたことは、SSH事業が、学校全体で文科系科目も含めて、先生方が生徒たちのために前向きにスタートを切られていたことを知りました。さすがに屋代高校の先生、と敬服したところです。

②池田工業高校の教頭先生からのご着任と承りました。が、これまでどんな学校に勤務されましたか。

富士見高(5年)が初任で、松本嶺ヶ崎高(11年)、長野高(7年)、屋代高(6年)と異動しました。

③どんな高校時代を送られましたか。

屋代高校第32回の卒業で、吹奏楽でトロンボーンを吹いていました。自分たちが各々で楽しんでやっていたような時代ですね。

④教師を目指されたきっかけは何かありますか。

直接的には、高校時代の担任の原田信一先生が「教えることは楽しいよ。」と言われたことです。

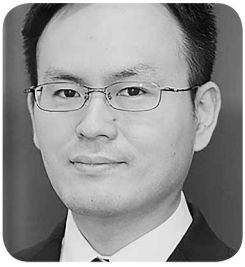
⑤ご専門分野について教えてください。

理学部化学科(千葉大学理学部)で無機化学分析という分野をやりました。

⑥生徒への期待をお願いします。

目前の高校生活に熱中して毎日毎日を充実してほしいと願っています。

37歳の北大教授 前田 理氏



○お若い教授のご誕生ですが、「専門」について教えてください。

専門分野は理論化学・計算化学で、コンピュータを用



附属中副校長 保坂和久先生

①ご着任のご感想からうかがいます。

何事にも誠実な姿勢で取り組む生徒が多く、授業に臨む姿勢が素晴らしいと感じました。また、廊下ですれ違う高

②松本市立開成中学校の教頭先生からご着任とお伺いしました。

「どちらの学校にお務めですか?」「開成中学校です。」「あの開成中学校ですか?」「いえいえ、あの開成中学校ではありません」という不思議な会話で始まる開成中学校で教頭をやっております。

③ご専門分野について教えてください。

理科を教えていたのですが、物・化・生・地の専門はなく、いかに理科を教えるかという「理科教育学」が専門になり

④趣味について教えてください。

廃車同然の車を買ってきて、部品交換したり板金塗装したりして、自分好みに作り上げていくのが好きです。このごろ忙しくて、車が錆びていくペースに作業が追い付いておりません。

⑤附属中学生への期待について

「食べ物を粗末にするという人があたる」というような人として大切にしなければいけない感覚を基盤に、知徳体バランスよく育ててほしいと願っています。目の前にあるチャンスを逃さず、色々なことにガッツ挑戦すること、自己の可能性を更に高めていき、最終的には地域に貢献できるリーダーになってほしいと願っています。

⑥学校としての今後の課題についてはいかがでしょうか。

今年度末には、中高一貫第一期生が高校を卒業します。進路実現の様子も含めて、様々な角度からの検証を行います。これからは長野県の先進的な教育活動に担っていく本校として、中高一貫教育でも成果を残していくことが大きな課題となります。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

○後輩諸君には、どんなことを期待されますか。

剣道部に3年間在籍し、弱いながらも日々練習に励んだことが、一番の思い出です。研究はうまくいかないことだらけですが、粘り強く挑戦していく強い気持ちを学べたと思います。長崎への修学旅行のホテルで朝方までディスカッションをしたことや、理科の実習の一つとしてウニの発生実験を泊まり込みで行ったことなども、印象に残っています。その頃は、研究者への漠然としたあこがれはありましたが、明確な強い意志はありませんでした。

附属中第6期生として入学してー驚きと願いー

入学生保護者 木次 由紀(佐久平浅間中学校から)

附属中が開校して初めて中高一貫の全6学年が揃った今年4月、息子も私も期待と希望と緊張でいっぱい気持ちは入学式に臨みました。あれから早3か月、緊張もほぐれ、息子は毎日大きな重い靴を背負って元気に登校しています。小海線としての鉄道を乗り継ぐので入学当初は通学だけで精一杯の様子でしたが、今は「遠い」など愚痴も言う反面、長い通学時間は友人との憩いの時間であり、勉強時間である一方で、「列車の接続が悪くても、友達と一緒になら平気」と申します。力をくれる友人の存在は本当にありがたいです。

さて、入学後いくつか驚かされる点がありました。中でも特に驚いたのは……

①制服をハンガーに掛ける…恥ずかしながら、幼稚園・小学校とこれまで帰宅後、脱いだ服を自分でハン

人との憩いの時間であり、勉強時間である一方で、「列車の接続が悪くても、友達と一緒になら平気」と申します。力をくれる友人の存在は本当にありがたいです。

さて、入学後いくつか驚かされる点がありました。中でも特に驚いたのは……

②運動系に入班…通学時間に掛かる上、どちらかというとインドア派で、興味のある班がなさそうだったので帰宅班でもいいので

ガリーに掛けることなど一度もなかった息子が、中学の制服は入学以来毎日自分でハンガーに掛けています。制服を大切に扱う事は母校を大切に思う事に通じると思っていますので、ぜひ続けてほしいです。

③運動系に入班…通学時間に掛かる上、どちらかというとインドア派で、興味のある班がなさそうだったので帰宅班でもいいので

いづれも驚きとともに中学生としての自覚の芽生えと成長を感じる出来事でした。これから6年間、楽しい事も、悩み・戸惑う事もあると思いますが、朗らかで温かい友人、優しく頼もしい先輩、魅力あふれる先生方と分かち合い、支えられながら、心豊かに元気に過ごしてほしいと思います。

そして6年後、6期生80人が校章にもある鳩のように、それぞれの夢や目標に向かって翼を広げ大きく羽ばたいていくことを心より願っています。

附属中学校の開校あたり創刊した「ユース版」が、早いもので第6号を迎え、第一期入学生は高校3年生になりました。お忙しい折、玉稿をお寄せくださいました関係皆様には、心より年感謝を申し上げます。また取材については、「鳩が丘新聞」班員(以下の皆様)にもご協力をいただきました。

○班長

山梨大学教育学部小学校理科専科をやっていたときは、これぞまさに天職と思うくらい楽しい毎日でした。

④趣味について教えてください。

廃車同然の車を買ってきて、部品交換したり板金塗装したりして、自分好みに作り上げていくのが好きです。このごろ忙しくて、車が錆びていくペースに作業が追い付いておりません。

⑤附属中学生への期待について

「食べ物を粗末にするという人があたる」というような人として大切にしなければいけない感覚を基盤に、知徳体バランスよく育ててほしいと願っています。目の前にあるチャンスを逃さず、色々なことにガッツ挑戦すること、自己の可能性を更に高めていき、最終的には地域に貢献できるリーダーになってほしいと願っています。

今年度末には、中高一貫第一期生が高校を卒業します。進路実現の様子も含めて、様々な角度からの検証を行います。これからは長野県の先進的な教育活動に担っていく本校として、中高一貫教育でも成果を残していくことが大きな課題となります。

⑥学校としての今後の課題についてはいかがでしょうか。

今年度末には、中高一貫第一期生が高校を卒業します。進路実現の様子も含めて、様々な角度からの検証を行います。これからは長野県の先進的な教育活動に担っていく本校として、中高一貫教育でも成果を残していくことが大きな課題となります。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

私の後悔は、高校時代に英語を勉強しなかったことです。意外かもしれませんが、研究で世界と渡り合うためには、英語での論文執筆、プレゼン、コミュニケーションが必須です。高校・大学時代に、努力しておくことをお勧めします。

研究者を目指す人がいれば、できるだけ難しい課題に挑戦してほしいと思います。解決に10年以上を要するようなら、誰もやりたがらない難題に粘り強く取り組み、10年後にはその分野の世界トップに立てるはずですよ。頑張ってください。

編集後記

附属中学校の開校あたり創刊した「ユース版」が、早いもので第6号を迎え、第一期入学生は高校3年生になりました。お忙しい折、玉稿をお寄せくださいました関係皆様には、心より年感謝を申し上げます。また取材については、「鳩が丘新聞」班員(以下の皆様)にもご協力をいただきました。

○班長

山崎朱理

坂口慎太郎、千野瑞季、原直希、廣間菜月

砂押なつ美、原田航、半田実乃理、八木広美

なお、附属中・高校生を問わず「鳩が丘新聞」の編集に興味ある方の入班をお待ちしています。(国語科・吉沢道夫生までお知らせください)